

ほけんだより

令和3年度 12月号

早いもので、今年も残り数十日となりました。寒さも一段と厳しくなり、咳や鼻水などの風邪症状の園児も……。これから年末にかけてイベントが盛りだくさんです。引き続き体調管理には十分気を付けていきましょう。

〜〜10・11月の感染症情報〜〜

10月 アデノウイルス・・・・・・・・・・1名 (ぺんぎん組)

胃腸炎が流行しやすい季節になりました。胃腸炎は症状(下痢や嘔吐、発熱など)が治まり、普通の食事がしっかり食べられるようになってから登所可能です。主症状がなくなっても数週間(ウイルスの種類によっては約1ヵ月)便にウイルスが排出されます。トイレの後の手洗いやオムツ交換後の便の処理には十分気をつけてください。

胃腸炎に係わらず嘔吐物や便などで汚れた衣類は感染拡大を防ぐ(二次感染予防の)為、保育所では水洗いや洗濯をせずにお返しする場合があります。 家庭での適切な対処・洗濯のご協力お願い致します。

動きやすい服で登所しましょう。

最近の子ども達はとってもおしゃれですね。ただ、保育園での服装は「活発に遊べるもの」を考慮して選んで頂きたいと思います。

下着を着る

保湿性・吸湿性を考えると綿100%で半袖のものが望ましいです。キルティングの長袖シャツでは子どもは動きにくく、暑すぎます。



安全なものを着る

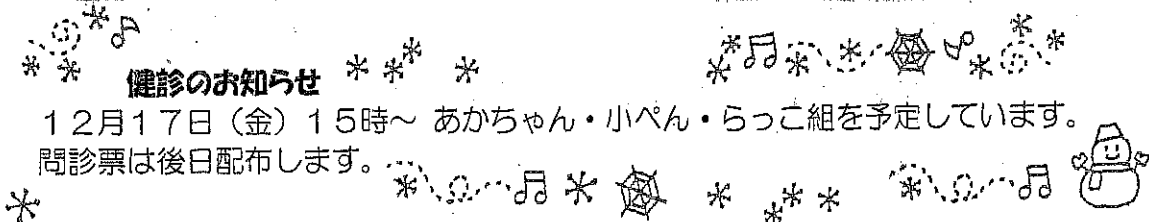
フードや紐はどこかに引掛る恐れがあるので気を付けましょう。チャックやボタンは子どもがひとりで着脱し易いか、安全かどうか家庭で確認してみましょう。

うす着でも平気

暖房がほぼ1日中使用されているので、裏起毛の衣類は(日中)暑すぎます。着せ過ぎは汗をかいて逆に冷えてしまいます。外に出る時はしっかりした上着を着て、中は着脱し易い薄手の服装で登所するのが望ましいです。

健診のお知らせ

12月17日(金) 15時~ あかちゃん・小ぺん・らっこ組を予定しています。問診票は後日配布します。





インフルエンザ対策も行っていますか？



なかなか予防接種の予約が取れなくて・・・という保護者の声も聞こえますが、大人も子どももインフルエンザ対策を忘れずに行いましょう。



インフルエンザとは？

感染力が非常に強く、急な発熱・悪寒・全身のだるさ等、重い風邪症状があります。

診断・治療について



基本的には検査キットでの検査を行います。周囲の流行や症状で検査をせずにインフルエンザと診断される場合もあります。また、検査キットで陰性でも症状や周囲の流行状況を総合的に判断して診断される時もあります。

治療には抗インフルエンザ薬が有効ですが服薬中は（予防薬も含む）登所を控えて家庭でゆっくり過ごしてください。肺炎や中耳炎、まれに脳症などの合併症をおこすおそれがあります。発熱中は特に子どもを一人にしないように心掛け、下記のような異常があればすぐに受診しましょう。

意識がおかしい

ぼんやりして視線が合わない
呼びかけても答えずウトウト
痙攣かもしれない
手足をつっぱりガクガクする
白目をむいている

呼吸状態がおかしい

顔色が悪く、唇が紫色
肩が上下する呼吸
呼吸が速く、浅い
胸を痛がる

食欲不振・脱水症状がある

食べない
水分を取りたがらない
何度も嘔吐
ぐったりしている
機嫌がよくない

インフルエンザは出席停止の感染症です。診断された場合は保育所にも連絡して下さい。また、送迎する保護者がインフルエンザに感染した場合はインターホンを活用して極力園舎に入らないようご協力お願い致します。

年度始めにもお願いしましたが10種の感染症にかかった場合、医師の意見書を提出して頂く事になっています。インフルエンザも意見書が必要な疾患ですので忘れずに記入してもらってください。

※医師の意見書はまこと保育所HPからダウンロード出来ます

インフルエンザは熱が出始めた日を0日と数え、

そこから5日間、かつ解熱後（平熱で24時間過ごせるようになって

から）3日間を経過するまで登所出来ません

